

2015 年度秋学期 貴重書・特別資料展示

獨協大学図書館 特別コレクション 鈴木信太郎文庫

『大鴉』 と 『半獣神の午後』



獨協大学図書館 2階 貴重書・特別資料展示コーナー

2015年11月16日(月)～12月4日(金)

【はじめに】

獨協大学図書館と東京都豊島区は、2014年4月に「連携及び協働に関する覚書」を締結し、日本におけるフランス文学研究黎明期^{れいめいき}に活躍した、鈴木信太郎に関連する資料の利用・公開に関して協同事業を開始しています。これに関連して、本学所蔵の鈴木信太郎文庫資料のレプリカ（複製版）作成が実施され、豊島区から『大鴉』、『半獣神の午後（初版、再版、第三版）』のレプリカと、その他資料の撮影データが提供されました。

『大鴉』については、保存状態の関係もあり展示される機会もほとんどありませんでしたが、精緻に再現されたレプリカが寄贈されたことで、展示はもとより、今後の教育研究への活用も可能となりました。

今回の展示では、この協定を記念してレプリカを公開するとともに、関連の資料も紹介することで、『獨協大学 特別コレクション 鈴木信太郎文庫』の世界へご案内いたします。

【フランス文学研究の草分けー鈴木信太郎ー】

鈴木信太郎は1895年（明治28年）、東京神田佐久間町の裕福な米問屋に誕生しました。信太郎は次男でしたが、長男が生後すぐに死亡していたため、実質的な長男として育てられています。父政次郎は米問屋を経営しており、また祖父春蔵は現在の埼玉県春日部市に広い農地を持つ地主でした。この祖父に家督を譲られてから第二次大戦まで、鈴木家は不在地主として安定した生活を送っていました。

信太郎は中学時代に、ベルギーの詩人であり、劇作家、随筆家のメーテルリンク（マーテルリンク）の文章に触れ、その「難解さ」と「幽玄さ」に魅了されます。それからフランス文学に傾倒していき、第一高等学校の仏法科に進学します。そして三年生に進級する際に、将来フランス文学を学ぶために両親に内緒で文科への転科届を出してしまうのです。また、このころすでに東京帝国大学文学科 佛蘭西文学専修に在籍していた辰野隆と親交を深め、自身も佛蘭西文学専修に進学することとなりました。

当時の東京帝大 佛蘭西文学専修は、たった一人の外国人講師エミール・エックが指導し、フランス文学は一般には顧みられない領域でした。しかし信太郎はのちに「エック先生からはじめてマラルメの初期の詩を二三篇読んでもらい、非常に感激し、それからマラルメを研究しようと考えた」と回想しています。

学生時代には、山田珠樹、久能木慎治、團伊能とともに同人誌「玫瑰珠（ろざりよ）」を発足し、自身も笙之助のペンネームで短編小説を発表しました。また、辰野隆と協同でエドモン・ロスタン作の戯曲『シラノ・ド・ベルジュラック』の翻訳を連載しています。これが今なお岩波文庫で読まれ続けている作品の原型となっています。

卒業後は1920年に東大文学科副手、翌21年に講師となり、渡辺一夫、小林秀雄、三好達治ら数多くの後進を育てました。こうして鈴木信太郎は日本におけるフランス文学研究の草分けとして活躍していたのです。



きこうぼん しゅうしゅう
【稀観本の蒐集家として】

信太郎は1925年（大正14年）に、私費留学生として二年間の予定でフランスに渡りました。このころの留学生は然るべき教授につき、その指導のもとに博士論文を書くのが一般的でした。ところが当時の信太郎の日記や手紙を見ると、パリ滞在にあたって、「第一は芝居を観ること、第二は本を買うこと、第三はヴィヨンを読むために中世フランス語の勉強をすること」と目標を立てていたようです。こうして本屋めぐりと稀観本（古書や限定版などの珍しい本）の蒐集を日課とするようになった信太郎に影響を与えたのが、パリに書店を構えるエドゥアール・シャンピオンでした。マラルメの『半獣神の午後』初版を見たのも、シャンピオンから招かれた昼食会のことであったようです。

このような優雅な留学生活は、一年も経たず、父政次郎の危篤の知らせによって終わりを告げます。急きょシベリア鉄道を利用して帰国することにした時、信太郎は貴重な本をどのように日本に運ぶか悩むこととなります。結局、一番大切な十冊ばかりを身につけて運び、次に貴重な四十冊ほどは、本と分らないように荷造りして日本郵船に託しました。そして、残りの千冊を船便で送ることにしたのですが、その船が火災にあい、一年間の努力が水の泡となってしまったのです。

気持ちを新たにして、再び稀観本の蒐集に取り組んだ信太郎は、これから集める本を二度と火事で失うことがないように、絶対に烧けない容れ物を作る計画、すなわち、当時の個人住宅としてはまだ珍しかった鉄筋コンクリート造の書斎兼書庫の建設に取り掛かるのでした。

こうして蒐集された蔵書が、信太郎の子息であり、元獨協大学図書館長である鈴木道彦名誉教授によって本学に寄贈され、『鈴木信太郎文庫』として特別コレクションを形作っています。資料の詳細については獨協大学図書館ホームページに、目録とともに掲載しています。また、書斎兼書庫は戦争でも焼失せずに現存し、豊島区が『鈴木信太郎記念館（仮称）』として公開するための整備事業を行っています。

ステファヌ・マラルメ（Stéphane Mallarmé, 1842-1898）

メーテルランク、ヴェルレーヌとともに十九世紀の象徴主義を代表するフランスの詩人。ポーやボードレールの影響を受け、独自の手法により純粹詩を追求した。また、自身の作品を美しい装丁の限定版にして出版した。

代表的な作品に、ポーの詩を翻訳しマネの挿絵をつけ、二百四十部の大型美本に仕上げた『大鴉』、百九十五部限定、美濃紙の二色刷り、マネが挿絵とカットを描き、表紙には日本の奉書に金箔でタイトルを印刷した『半獣神の午後』初版、生前唯一の詩集で四十部限定の、マラルメの筆跡がそのまま印刷され、日本鳥子紙を用紙に使い、フェリシアン・ロップスの銅版画が挿まれ、九輯（しゅう）に分冊された『ステファヌ・マラルメ詩集』がある。

展示関連ブックリスト

【鈴木信太郎について】

1. フランス文学者の誕生：マラルメへの旅 / 鈴木道彦著. -- 筑摩書房, 2014.10.
図書館: 3階:和図書 請求番号 910.268-Su961s
2. フランス語フランス文学研究 / 日本フランス語フランス文学会 No.17 (鈴木信太郎追悼)
自動書庫 請求番号 P-850.5-F43b-14-17
3. 心 / 心編輯所 昭和四十五年五月號 (鈴木信太郎追悼)
自動書庫 請求番号 P-051.3-Ko44-23(1)
4. 書齋の宇宙：文学者の愛した机と文具たち / 高橋輝次編. -- 筑摩書房, 2013.12.
図書館: 3階:和図書 請求番号 914.6-Sh9671b
* 石川欣一の文章に鈴木信太郎使用の原稿用紙についての記述あり。

【旧鈴木家住宅について】

5. 昭和住宅 = Showa housing 1926-1989 / 辻泰岳 [ほか] 著. -- エクスナレッジ, 2014.8.
図書館: 2階:和図書 請求番号 527-Sh97b
6. 宇野澤辰雄の世界 / 増田彰久写真 ; 田辺千代文. -- 白揚社, 2010.9.
図書館: 3階:和図書 請求番号 751.5-U77Ym
* 宇野澤 (山本) 辰雄は日本で最初のステンドグラス作者とされ、鈴木家住宅のものも手掛けた。

【マラルメ、『大鴉』、十九世紀フランス文学と象徴主義について】

7. マラルメ全集 1 詩・イジチュール / マラルメ [著] -- 筑摩書房, 2010.5.
図書館: 3階:和図書 請求番号 [本冊] 958-Ma39-1 [別冊] 958-Ma39-1b
8. 岩波文庫 マラルメ詩集 / [マラルメ著]; 渡辺守章訳. -- 岩波書店, 2014.11.
図書館: 1階:文庫新書(和) 請求番号 B-951-Ma39m.w
9. マラルメの「大鴉」：エドガー・A・ポーの豪華詩集が生れるまで / 柏倉康夫訳著. -- 臨川書店, 1998.10. 図書館: 3階:和図書 請求番号 931-P76oY
10. 大鴉 (おおがらす) / エドガー・アラン・ポー著 ; 日夏耿之介訳. -- 沖積舎, 2005.9.
図書館: 3階:和図書 請求番号 931-P76o
11. 十九世紀フランス文学を学ぶ人のために / 小倉孝誠編. -- 世界思想社, 2014.10.
図書館: 3階:和図書 請求番号 950.26-J92
12. 象徴主義の文学運動：完訳 / アーサー・シモンズ著 ; 山形和美訳. -- 平凡社, 2006.3.
図書館: 3階:和図書 請求番号 950.2-Sy5s

以上の資料は、館外貸出可です。

また、2012年1月に開催した、鈴木道彦名誉教授講演会『鈴木信太郎文庫の世界』を収録したDVDが、図書館3階映像資料コーナーに配架されています。(請求番号 DVD-041-1、2 館外貸出不可)